

式 辞

桜のつぼみも膨らみはじめ、渡る風にも日一日と春の訪れを感じるこの季節に、能美市長 井出(いで)敏明(としあき)様、PTA会長 吉光(よしみつ)成寛(なりひろ)様、保護者の皆様方をお迎えし、能美市立寺井中学校 第六十九回卒業証書授与式が挙行できますことを、心より感謝し、厚く御礼を申し上げます。

保護者の皆様方におかれましては、本日は誠にありがとうございます。多感な時期を迎えた子ども達を、温かく受け止めていただくとともに、本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきましたことに心よりお礼を申し上げます

本日をもって三年間を修了される百九十八名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんとは一年間の出会いではありましたが、この一年でのみなさんの成長には目を見張るものがありました。ここに、胸をはり卒業式を迎えるみなさんの姿を誇らしく思い、また、本当に嬉しく思います。

常に寺井中学校の顔として、行事や生徒会活動、そして部活動を通して後輩をリードし、立派に責任を果たしてくれました。

体育祭では、みんなでゴールを目指し励ます姿、解団式でのやり遂げたすがすがしい姿、また、合唱コンクールではどのクラスとも甲乙つけがたい素晴らしい合唱。迫真の演技で魅了した演劇や、工夫を凝らしたオープニング、エンディング等、心を一つにし、協力し合い、全力を出し切りやりきる素晴らしさや、一つのものを創り上げる素晴らしさを、感動を、寺井中学校の伝統として後輩に受け渡してくれました。

文化祭後は、進路実現に向け、不安や焦りと向かい合い、苦しい時もあったでしょうが、互いに励まし合いながら目標実現に向けて頑張ってきました。

さて、本日は、卒業されるみなさんにお伝えできる最後の機会です。そこで、みなさんの門出にあたり一言はなむけの言葉を送りたいと思います。

「自分の翼だけで飛ぶなら、鳥は高く舞い上がることはできない。」

これは、イギリスの詩人、画家でもあるウィリアム・ブレイクの言葉です。

みなさんが生きていく二一世紀は、予想がつかない時代であると言われていています。科学技術の進歩は私たちの未来を明るく照らし、人々の幸福に大いに貢献することでしょう。一方で、私たちの職業観や仕事そのものを変え、社会を変え、価値観を変え、生活や生き方までも変えていくことが予想される時代であると言われていています。

このように変化する社会において、今まで以上に問われること、大切なことは、人や社会と関わりながら生きる、人としての生き方であるように思います。

時代の波に流されることなく時代を見極め、足元を見つめ、未来を切り開こうとする自らの強い意志を持ち、他者と協力、協同しながら社会をより良く生きようとする姿です。

人工知能がいかに進化し社会に貢献しようとも、また、そのような時代であればこそ、困難に対して知恵を出し合ってい解決を図る、人が人としての価値ある生き方が求められる、心の時代であると思います。

「自分の翼だけで飛ぶなら、鳥は高く舞い上がることはできない。」

鳥が飛び立とうとするとき、風は都合の良い方向に吹くとは限りません。順風のときもあれば、勿論、逆風のときもあります。それが風と言うものであり、現実です。

しかし、時として鳥は逆風を利用して高く舞い上がることも事実です。また、渡り鳥は、先頭を交代しながら

らみんなで助け合い、その風を利用しながら長い距離を渡っていく知恵を持っています。

是非ともみなさんには、「自分の翼」が持つ、可能性を信じて力強く羽ばたき、自分らしく、夢を託した大空で努力できる人となることを期待したいと思います。

そして同じ翼をもつ人々とともに、考える翼、心を持つ翼、勇気と意思ある翼、この先を生き抜くたくましい翼として成長することを願っています。

結びに、皆さんが見せてくれた沢山の笑顔と感動に感謝するとともに、この先たくましく歩んでいかれんことを心から願い式辞といたします。

令和二年 三月 十三日

能美市立寺井中学校長

西 田 誠 一